

第5回 東海村地域公共交通会議 議事メモ(公表用)

【日 時】 平成 27 年 1 月 23 日(金) 15 時 30 分～

【場 所】 東海村役場 原子力視察研修室

【出席者】 (委 員) 出席 16 名／欠席 7 名

1. 開会(まちづくり推進課)

2. あいさつ

(副村長)

- ・みなさんこんにちは。東海村副村長の設樂でございます。早いもので新たな年が明け、清々しい気持ちで仕事始めの日を迎えてから、もう3週間が経とうとしております。皆様方におかれましては、年末年始の穏やかな日々から一点何かと忙しい日々をお過ごしのことと思います。そのような中、本日は、東海村地域公共交通会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。
- ・さて、国の公共交通施策については、昨年 11 月 20 日に改正地域公共交通活性化再生法が施行され、急速な少子高齢化や人口減少社会において、都市の再生や地域活力の向上、持続可能なまちづくりを実現するためには、コンパクトなまちづくりとともに地域公共交通網の充実が必要不可欠であるとされているところであり、改正法に基づく具体的な取り組み方針や予算の詳細についてもまもなく公表されるのでありますので、いよいよその取り組みが加速するものと期待しております。
- ・本村におきましては、平成 25 年度から新たな公共交通についての検討を開始し、今年度は、茨城大学の協力を得て実施したアンケート調査を通して、公共交通に関するニーズを把握し、その上での実証実験を予定しておりましたが、第2回会議の中で、茨城交通様から“一度は廃止となってしまった路線バスを再検討したい”旨のご発言をいただき、第3回会議において、路線案として4系統の提案がされたところでございます。今後は、誰でも乗降が可能な路線バスの試行運転をしながら、その乗車状況などを踏まえて、地域公共交通網の再編に向けた取り組みを加速させてまいりたいと考えております。
- ・本日は、茨城交通様から新たな路線バスの詳細な運行計画案についてご説明をいただくことになっております。委員の皆様から忌憚のないご意見を賜り、よりよい取り組みとして進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、開催にあたり村を代表としてのあいさつとさせていただきます。

3. 委員紹介

(まちづくり推進課)

- ・ありがとうございました。続いて新委員の紹介に移らせていただきます。
- ・昨年 12 月 15 日に開催した第4回会議においてご説明させていただきましたとおり、本日の第5回会議から、本会議を改正地域公共交通活性化再生法に基づく法定協議会も兼ねる会議体に移行させていただきます。それに伴いまして、事前に配布させていただきましたように、設置要綱の一部を改正するとともに、新たな委員の方々にも参画していただいております。ここで新たに委員として委嘱させていただきました皆様をご紹介させていただきます。委員名簿の順にご紹介させていただきますので、一言ずつ

ご挨拶をお願いします。

名簿No. 16 茨城交通労働組合 執行委員長の菅原 様です。

名簿No. 18 茨城県 企画部 企画課 交通対策室長の川上 様です。

名簿No. 19 茨城県 常陸大宮土木事務所 道路管理課長の磯野 様です。

- ・以上3名の皆様に新たな委員として加わっていただきました。よろしくお願いいたします。
- ・なお、本日は過半数を超える16名の委員の出席をいただいておりますので、本会議は成立しておりますことを報告させていただきます。
- ・また、今回の会議から、隣接自治体の担当部署からもオブザーバーとして会議出席をいただくこといたします。本日は、日立市、ひたちなか市からご出席をいただいております。よろしくお願いいたします。

4. 会長・副会長の選出

(まちづくり推進課)

- ・引き続きまして、会長・副会長の選出に移らせていただきます。要綱第4条第1項の規定により、本会議には会長1名、副会長2名を置くとしており、同条第2項及び第3項の規定に基づき、会長は副村長をもって充て、副会長は委員の互選により定めることとなっております。ここで皆様におはかりいたします。副会長の選出につきましては、いかがいたしましょうか。
- ・よろしければ事務局案がございますので発表させていただければと思います。
- ・それでは、事務局案を発表させていただきます。これまで本会議の運営にご尽力いただきました、河野委員、岸委員を副会長に推薦させていただきたいと思います。

【「異議なし」の声あり】

- ・ありがとうございます。それでは、会長を設楽副村長、副会長を河野委員、岸委員にお願いしたいと思います。会長、副会長につきましては、それぞれの席まで移動をお願いいたします。
- ・それでは設楽会長から一言ご挨拶をお願いいたします。

(設楽会長)

- ・只今会長に選出いただきました設楽でございます。副会長に就任していただきました河野委員と岸委員におかれましては、引き続き、本会議の運営にお力添えいただければ幸いです。また委員の皆様におかれましても、これまで同様、本村の地域公共交通政策について忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。
- ・今後、国の支援も視野に入れつつ進めるためには、地域公共交通網形成計画の策定や国への申請行為が見込まれることから、私が会長職を務めさせていただくこととなりました。本来であれば要綱第6条の規定により私が議長として会議を進行するところではございますが、要綱第9条の規定に、会議の運営に関し必要な事項は会議に諮って定めるとありますので、皆様にお諮りした上で、ご承認をいただければ、引続き会議の進行を、副会長のお二人に委任したいと思いますのですが、いかがでしょうか。

【「異議なし」の声あり】

- ・ありがとうございます。それでは副会長のお二人に今後の会議運営を委任させていただきます。
- ・それでは、ここで副会長のお二人から一言ずつご挨拶をいただきたいと思います。まず河野副会長お願いいたします。

(河野副会長)

- ・只今ご紹介いただきました東海村民生委員・児童委員協議会の会長を務めております河野と申しま

す。これからこの会議の副会長ということで、皆様方のご意見を吸い上げながら、議事進行を務めてまいりたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

(まちづくり推進課)

・ありがとうございます。続いて岸副会長お願いいたします。

(岸副会長)

・東海村身体障害者福祉協議会の会長を務めております岸と申します。今回副会長を仰せつかりましたが、デマンドタクシーの導入から携わり、様々な課題が発生するたびにこの会議で対応し、今では住民の貴重な足となっていると思っております。デマンドタクシーでは村外に行けないというご意見をいただいていた中で、今回路線バスの提案があり、ぜひとも実現できるよう皆様と相談しながら、デマンドタクシー同様住民の足となるようがんばっていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(まちづくり推進課)

・ありがとうございました。それでは、以降の議事進行につきましては、河野副会長、岸副会長にお願いしたいと思います。

5. 協議事項

(1) 新たな路線バスの運行計画について

(河野副会長)

・それでは、新たな路線バスの運行計画について、茨城交通株式会社から資料の説明をお願いいたします。

(茨城交通)

・【資料 新規バス路線：運行計画案について、運行ルート案、運行ダイヤ案】に基づき概要説明

(河野副会長)

・ありがとうございました。それではただいまの説明に対して質疑はございますか。

(委員)

・既存路線も新規路線も距離制運賃にするとのことだが、10月以降の本格運行にあたってはどのように考えているのか。

(茨城交通)

・均一運賃の導入など、この会議において皆さんと協議をして決めていきたいと思っている。

(委員)

・東海駅東口から海浜公園までの運賃が520円ということだが、仮に茨城東病院から海浜公園まではいくらになるのか。この運賃次第ではデマンドタクシーで茨城東病院に行ってからバスに乗り換えて海浜公園に行ったほうが安いということになるのではないか。

(茨城交通)

・今のところ280円程度になる予定である。デマンドタクシーから乗り継ぐよりも始発からバスを利用した方が安いことになる。

(委員)

・始発便については利用者が少ないのではないかと懸念するかがいか。

(茨城交通)

・始発便については、JRを利用する通勤・通学者の乗降調査の結果からこの時間を設定している。ま

た、バスは勝田営業所から走ってくるため、回送で駅に向かうよりは、乗客を乗せたほうが良いということもある。

(委員)

- ・このバスに乗ってもらうためには、自治会等の集まりを利用して住民にアピールしていかなければならない。ダイヤやバス停についても住民の声を反映したほうが住民の熱意も高まるのではないか。試行運転の期間中でも取組めるので、方向性として捉えていたほうが良いと思う。

(副会長)

- ・事務局としては、PRについてはどのように考えているのか。

(まちづくり推進課)

- ・PRの方法については、本日の会議で運行計画案の了承を得て、その後申請することを前提に、第1弾のチラシを2月25日号の広報誌への折込、第2弾のチラシを3月10日号もしくは25日号に再度折り込みたいと考えている。第1弾のチラシについてはバスに特化したもの、第2弾については、デマンドタクシー、バス、JRなども網羅した公共交通に関するチラシとする予定である。
- ・各種団体の会議等でチラシ配布や説明もできるよう全庁的に取組む予定である。
- ・各自治会についても3~4月は総会の時期であり、チラシの配布や説明を行う。
- ・学生も入れ替わる時期であり、東海高校や中学校向けにもPRしていく。
- ・街頭キャンペーンについても各種団体と協力して実施していきたい。
- ・議会の各会派に対しても、ルート・ダイヤの案を説明し、事前にチラシを配布することも含めて概ね了解をいただいている。
- ・今回のルート・ダイヤ(案)については、アンケート結果に基づいて、茨城交通さんが検討していただいたものであり、一部の路線が村外まで延びている形であるが、まちづくり推進課としては商工観光も担っており、外に住民を運ぶだけではなく、村外からお客様を呼ぶ仕組みにも役に立つと考えている。今後まちの活性化という視点でも皆さんと取り組んでいきたい。

(副会長)

- ・高齢者に関わることが多いことから、買い物難民への支援にも結びついてくれればと思っている。
- ・その他皆様から特にご質問がなければ、路線バスに関するルート、ダイヤ、運賃等の計画については、了承とする。今後、申請にあたり多少の変更も予想されるダイヤやバス停の詳細な設置場所については、事務局にお任せする。

(委員)

- ・東海高校はどのあたりにあるのか。

(まちづくり推進課)

- ・駅から約1km程度の距離にありバス通学をするほどの距離でもない。

(茨城交通)

- ・東海高校の前を通る路線として、10月に再編を検討する段階で、既存のフローレスタ線を循環線にするかどうかも含めて協議していきたい。

(副会長)

- ・PRについて事務局から説明があったが、ただチラシを配るだけではなく、集まりに出向いていって説明することも重要であるのでお願いしたい。

(2)その他

(副会長)

- ・皆様からその他の項目で何かあるか。
- ・事務局からその他ありますか。

(まちづくり推進課)

- ・当日配布した【追加資料 今後のスケジュール】について説明

(副会長)

- ・この件に関して特になければ進行を事務局にお返りする。

6. 閉会(まちづくり推進課)

- ・ 次回は2月中旬を予定しており、広報PRに関することや地域公共交通網形成計画の案についてご審議をいただく予定である。改めて通知し、資料の事前配布にも努める。